

NEWS RELEASE

GREEN CHALLENGE 2050

私たちの挑戦で、未来を変えよう。



セブン&アイ HLDGS.

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

2020年11月24日

最新の設備と技術を採用し、省エネ・創エネをさらに推進

CO2排出量 54%削減^{※1} 省エネ店舗の実証実験を開始

株式会社セブン - イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、2020年11月25日（水）に、最新の設備・技術を利用した省エネの実証店舗として、「セブン - イレブン青梅新町（おうめしんまち）店」をオープンいたします。

本店舗は、セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』に基づき、店舗運営に伴うCO2排出削減の取り組みの一環として、様々な省エネ建物・設備および創エネ・蓄エネ設備を導入した店舗になります。これにより、外部調達電力については2013年度対比で43%削減、CO2排出量については2013年度対比で54%削減^{※1}を共に見込みます。また、本店舗での試用、実証を足掛かりに、可能なものから全国の店舗への拡大を検討してまいります。

セブン - イレブンでは、これまでの「ひとつ環境にやさしい店舗」等の取り組みに加え、本取り組みも通じ、将来に向けたCO2排出量の大幅な削減に努めてまいります。

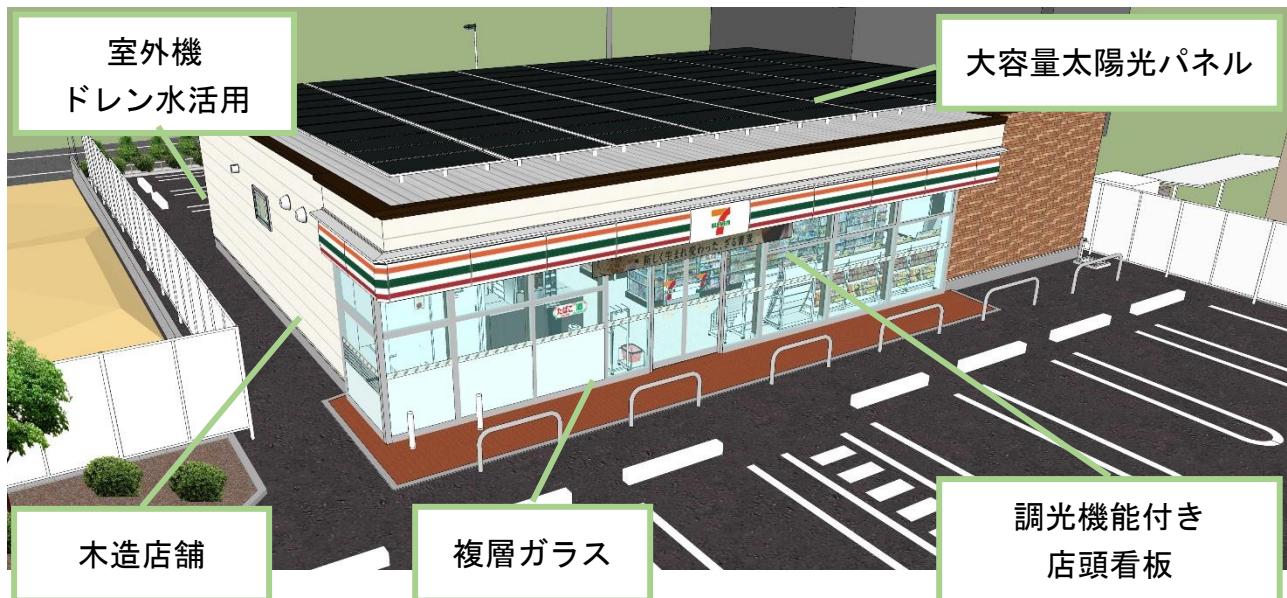
※1.CO2排出量は電気使用量(kWh) × CO2排出係数(t-CO2/kWh)で算出

CO2排出係数は2013年度0.000565t-CO2/kWh、青梅新町店は0.000459t-CO2/kWh（2019年度分）を使用

《概要》

- ◆店舗名称：セブン - イレブン青梅新町店
- ◆所 在 地：東京都青梅市新町7-3-18
- ◆開店日時：2020年11月25日（水）7:00 オープン
- ◆取り組みイメージと概要

《採用技術の概要（抜粋）》



※イラストはイメージです



※イラストはイメージです

《主な設備の概要（抜粋）》

省エネ建物

◇店内正圧化

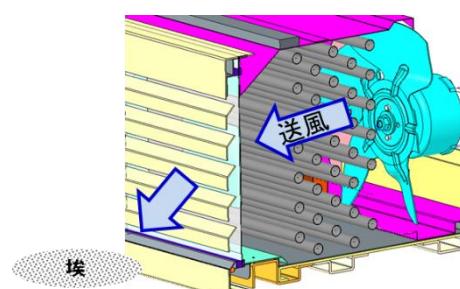
■通常、店舗内には複数箇所に換気扇を設置しており、気圧が外部より低い「負圧」の状態になっております。その為、入口ドアが開くと外気とともにホコリ等が入ってきます。今回、「差圧センサー」を取り付け、送風ファンから店内に空気を供給し、店内気圧を外部よりも高い「正圧」の状態にすることで、入口ドアからの外気の侵入を防ぎ、空調効率の改善を図ります。



省エネ設備

◇オートクリーンフィルター

■アイスケース、栄養ドリンクケース、冷凍リーチインケースで冷却運転に必要なファンを霜取時ののみ逆回転させることで埃を除去することができます。これによりフィルターの詰まりによる負荷上昇を抑えるとともに、週に1回必要だったフィルター清掃の作業が不要となります。



創エネ・畜エネ設備

◇大容量太陽光パネル・蓄電池

■店舗屋根上に太陽光パネルを設置可能な範囲に最大限設置することで、35.6kWの出力を実現。あわせて従来に比べて高効率のパネルを採用することで、現在採用している仕様と比べ、約3倍の発電量を見込んでおります。また蓄電池を設置し、昼間の太陽光パネルにより発電した電気を夜間に活用することで、再エネ比率を高めると共に、災害等による店舗停電時には営業継続が可能になります。



店舗建築

◇木造店舗建築

■躯体部分について、軸組み工法を採用。また大スパンの空間づくりが可能な LVL 材^{※2} を採用し、店舗内に柱が出ないように設計しております。従来工法に比べ断熱性・気密性を向上させ省エネを実現します。



※2. 単板を平行にし積層・接着して造られた、高強度で品質の安定した木材加工製品

＜ご参考＞

◆セブン - イレブンの「CO2 排出量削減」に関するこれまでの取り組みについて（抜粋）

・セブン - イレブン店舗への太陽光パネルの設置

➢ 約 8,500 店舗（2020 年 10 月末現在）の屋根に太陽光パネルを設置。店舗電力として活用

・配送用 EV トラック、FC（燃料電池）小型トラックの試験導入

➢ 物流における CO2 排出量削減に向け、環境配慮型の配送トラックを試験的に導入

・『ひとつ環境にやさしい店舗』セブン - イレブン千代田二番町店の取り組み（テスト）

➢ 2017 年 12 月に開店。純水素燃料電池等の採用により、約 28% の電力使用量を削減

・『ひとつ環境にやさしい店舗』セブン - イレブン相模原橋本台 1 丁目店の取り組み（テスト）

➢ 2018 年 5 月に開店。路面太陽光パネルや大容量蓄電池を採用し、約 46% の再エネ比率を実現

・“再エネ 100%” の店舗運営に関する実証実験、神奈川県内 10 店舗の取り組み（テスト）

➢ 2019 年 9 月に開始。電気自動車のバッテリーや高性能太陽光パネル等を活用し、再エネ 100% を実現

◆セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』



- ・2019 年 5 月 8 日にセブン&アイ・ホールディングスが発表。
- ・お客様やお取引先様をはじめ全てのステークホルダーの皆様と共に“豊かで持続可能な社会”の実現に向け取り組んでいくことを宣言。
- ・4 つのイノベーションチームを立ち上げ、グループ横断での対応を推進。
- ・『GREEN CHALLENGE 2050』の内容

目指す姿	具体的な取組	2030 年の目標	2050 年の目指す姿
脱炭素社会	CO2 排出量削減	グループの店舗運営に伴う排出量 30% 削減（2013 年度比）。 自社の排出量（スコープ 1+2）のみならず、スコープ 3 を含めたサプライチェーン 全体で削減を目指す。	グループの店舗運営に伴う排出量 80% 以上削減（2013 年度比）。
循環経済社会	プラスチック 対策	オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する容器は、環境配慮型素材（バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙、等）50% 使用。	オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する容器は、環境配慮型素材（バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙、等）100% 使用。
		プラスチック製レジ袋の使用量ゼロ。使用するレジ袋の素材は、紙等の持続可能な天然素材にすることを目指す。	—
自然共生社会	食品ロス・食品リサイクル対策	食品廃棄物を発生原単位（売上百万円あたりの発生量）50% 削減（2013 年度比）。	食品廃棄物を発生原単位（売上百万円あたりの発生量）75% 削減（2013 年度比）。
		食品廃棄物のリサイクル率 70%。	食品廃棄物のリサイクル率 100%。
自然共生社会	持続可能な調達	オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する食品原材料は、持続可能性が担保された材料 50% 使用。	オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する食品原材料は、持続可能性が担保された材料 100% 使用。

以上